

## 菅政権の憲法違反の大軍拡政治反対 市民と野党の共闘で「安保法制」の廃止を

### 「敵基地攻撃」と大軍拡に反対する学習会

安保中央も主催団体となった  
学習会 衆院第2議員会館



「敵基地攻撃」と大軍拡に反対する 12・4 学習会が 12 月 4 日、衆議院第 2 議員会館で憲法共同センターや安保破棄中央実行委員会など 5 団体の主催で開かれ、会場と全国からのオンライン参加でおこなわれました。

国民大運動実行委員会の小畑雅子代表世話人（全労連議長）は主催者あいさつで、菅政権に対して『「敵基地攻撃能力」と大軍拡に反対し、戦争する国づくりに反対しよう」「政府はコロナ禍で、大軍拡ではなく国民の命とくらしを守れ」と訴えました。

発言では、日本体育大学の清水雅彦教授が

憲法から見た『敵基地攻撃』の問題点を取り上げ、日本政府の基本的立場を経緯から解説し、従来からの政府の立場からも敵基地攻撃論は違憲である、と述べました。「労組と市民と野党の共闘」で「安保法制」（戦争法）の廃止など安倍政権以前に戻すことを訴えました。

ジャーナリスト・軍事評論家の前田哲男氏は、敵基地攻撃能力のあるトマホクミサイルや中距離弾道ミサイル、「いずも」空母化など具体的な兵器が憲法上保有できない攻撃型兵器であることを明らかにしました。

安保破棄中央実行委員会の小泉親司常任幹事は、菅政権の「敵基地攻撃能力」と軍拡予算について、安倍政権からの資料・データを用いて「防衛費」のカラクリを説明し、軍拡の実態を明らかにしました。

会場には 45 名が参加し全国では 40 か所ほどでオンライン参加されました。学習会のようなすは、YouTube<憲法共同センター channel>で配信を後日おこないます。

### イージス代替 自衛艦で システム搭載 具体像絞らず (朝日 7 日付)

政府は、陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アシュア」の代替を、同システムを転用した自衛艦「イージス搭載艦」とする方針を固めた。月内に閣議決定する見込み。コスト面などで見通せない要素が多いため、艦の具体像はまだ絞らず、年明け以降に検討を続ける。

美しい馬毛島を軍事基地にしてはいけぬ



鹿児島県西之表市・馬毛島のアメリカ軍訓練移転問題についてです。

## 防衛省が島の沿岸で潜水調査始める

### 馬毛島 米軍訓練移転問題

防衛省は、基地整備に向けたボーリング調査の事前準備となる潜水調査を、12月1日から島の沿岸で始めました。

馬毛島は、アメリカ軍空母艦載機の陸上離着陸訓練の移転候補地で、国は島に自衛隊基地を整備した上で訓練を移転させる計画です。防衛省によりますと、1日から今月8日まで馬毛島東岸海域で潜水作業を実施する予定で、1日朝、西之表市の港から防衛省の関係者数人を乗せたチャーター船が島に向けて出港しました。

潜水作業をする海域は、防衛省が整備する自衛隊基地の仮設栈橋や係留施設の予定場所です。県によりますと、潜水作業は基地港湾施設の整備に向けた海上ボーリング調査を行う前に、海域に危険物がなにかを確認するために実施されるといふことです。

防衛省は、ボーリング調査を来年5月末まで、島の東側の海域37か所で計画しています。

鹿児島・MBC南日本放送より提供)

### 在日米軍感染緊急対策を 新日本婦人の会要請

新日本婦人の会は 12 月 2 日、在日米軍基地での新型コロナ感染拡大に対する緊急対策をとるよう求める米山涼子会長の要請書を菅義偉首相に送付しました。要請の中には、コロナ対策以外に日米地協定を抜本的改定することなども訴えています。